



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。

【一学校一改善】 先手あいさつ

感染対策を徹底しながら、2学期の教育活動をスタートしました！

9月1日(水)は2学期始業式の日でしたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況を受けて、時差登校での2学期のスタートになりました。

全体での始業式は実施せず、校内放送を使って、感染予防をしっかりと行いながら、希望をもって2学期の学校生活を過ごしてほしいことを生徒たちに話をしました。生徒一人一人が、自分の目標に向けて、今できること、やるべきことに丁寧に取り組み、実り多い2学期とすることができるよう、応援していきたいと考えています。



本来は始業式で発表する予定でしたが、各学年及び生徒会代表の生徒4名が、「2学期の目標」を書いてくれましたので、ここに紹介します。

「夏休みの反省と2学期の目標」

1年代表

皆さん、夏休みは楽しく過ごせましたか。今年の夏休みもコロナ感染対策のため、思うような夏休みを過ごせなかったと思います。このコロナ禍の状況で、僕の夏休みの反省は2つあります。

1つ目は、計画的に宿題を進めることができなかったことです。その要因として、サッカーとの両立ができなかったことが挙げられます。8月は合宿があり、計画的に進めることができませんでした。しかも、課題を終らせることに必死で、1学期の復習をすることができませんでした。

2つ目は、生活面についてです。早寝・早起きをすることができませんでした。その要因として、夜ふかしをしてしまい、生活リズムが崩れてしまいました。何時に寝て何時に起きると決めても、なかなか自分で決めたことを達成することができませんでした。

この2つの点を改善するための2学期の目標は、「目標を立て、実行へつなげる行動をする」ということです。

目標を立てることのメリットは、「モチベーションを維持することができる」、「思考が前向きになる」などといった自分にプラスになることがあります。小さな目標でもいいから、それに向かって励むことが大切だと思います。これは、勉強にもサッカーにも言えることなので、目標を立てて実行していけるように頑張りたいです。

2学期も感染対策に気をつけて、前向きに楽しんでいきたいです。